

ITレポート

土地家屋調査士 川久保直裕事務所

1. 経営の方向性及びデジタル技術等の活用の方向性について

① デジタル技術が社会や自社の競争環境に及ぼす影響について

- ・ デジタル技術の進化により、土地家屋調査業務の効率化と正確性が大幅に向上。
- ・ 高度な 3D 測量技術の導入で、従来困難だった案件に対応可能となり、市場競争力を強化。
- ・ データ管理と分析のデジタル化により、顧客への迅速なフィードバックとサービス提供が可能に。
- ・ IT 化による業務プロセスの自動化で、人手不足問題の解決と作業負荷の軽減。

② 経営ビジョンやビジネスモデル

- ・ 土地家屋調査の分野でデジタル技術を先駆けて活用し、品質と効率の向上を実現。
- ・ 客先ニーズに応じた高度な測量データ提供を通じて、サービスの差別化と市場拡大を目指す。

2. 経営ビジョンやビジネスモデル実現のための戦略

- ・ 3D レーザースキャナー等の最新測量機器の導入による測量作業の高精度化と効率化。
- ・ DX 化、ICT 化を推進し、業務プロセスの最適化と迅速なデータ処理能力の強化。
- ・ クラウド技術の活用によるデータの安全な管理と顧客へのスムーズな情報提供。
- ・ 継続的な技術研修と人材育成による専門知識と技術力の向上。

3. 戦略を推進するための実施体制

- ・ IT 戦略の策定と実行をリードする代表 CIO のもと、組織全体でのデジタルトランスフォーメーションを推進。
- ・ 定期的な技術レビューとプロジェクト評価を通じ、戦略の有効性と効率の向上を図る。

土地家屋調査士 川久保直裕事務所

代表 CIO : 川久保直裕